MIWA

UUT取扱説明書

取説番号 878H023

（取付説明は別紙を参照ください。）　※機能1（S）～4（S）型

〈工事店様へのお願い〉
取付・調整の後、本書をお客様にお渡しください。

錠種の動作確認表

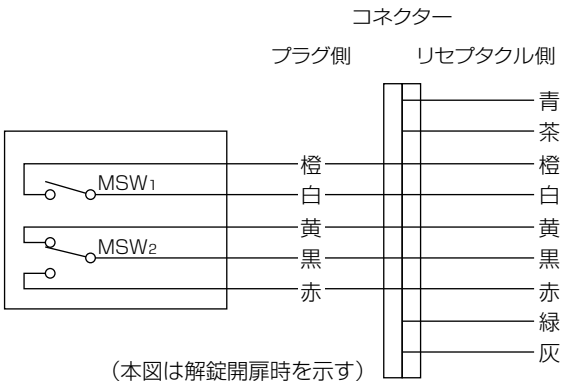
錠種	施　錠　時	解　錠　時
UUT－1（S） （開扉時にキー又はサムターンを回して閉扉すれば自動施錠） （施解錠繰り返し型）	・室内側、室外側ハンドル（握り玉）とも固定 ・サムターンの向きは横	・室内側、室外側ハンドル（握り玉）ともフリーで解錠 ・サムターンの向きは縦
UUT－2（S）～4（S） （施解錠繰り返し型）	・室内側、室外側ハンドル（握り玉）とも固定 ・サムターンの向きは横	・室内側、室外側ハンドル（握り玉）ともフリーで解錠 ・サムターンの向きは縦

【ご注意】

1．両開き扉の場合は、受座側扉をフランス落し等で固定した状態で施錠してください。
　固定せずに施錠し、無理に扉を押し開くと錠が破損します。
2．レバーハンドル用ケースと握り玉用ケースを共通にしたため、レバーハンドルの場合も上下どちらの方向にも操作可能です。

【電気的仕様及び内部回路】（スイッチ付の場合のみ）

名　称	定　格		
マイクロスイッチ（扉開閉信号）	電　圧 DC24V	電　流 2mA～100mA	有効チリ寸法 6mm以内
マイクロスイッチ（施解錠信号）	電　圧 DC24V	電　流 2mA～100mA	
リード線	長さ400mm（9Pコネクター付） AWG－24UL1007耐熱ビニール電線		



（本図は解錠開扉時を示す）

・MSW_1－マイクロスイッチ（扉開閉信号）
・MSW_2－マイクロスイッチ（施解錠信号）

美和ロック株式会社
〒105-8510　東京都港区芝3丁目1番12号

取説番号	878H023

【お願い】

・錠の動作や操作が取扱説明書どおりに行われていない場合は、以下の確認を行ってください。
・以下の確認修正を頂いても正常な動作にならない場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。

チェック項目

1．錠前取付け時のチェック【建具工事】	結　果	備　考
1－1　設計仕様は錠種と合致しているか。 （a）錠種、品番は設計どおりか。		
1－2　扉の状態は正常か。デッドボルトが正しく突出しているか。 （a）扉のねじれ・ゆがみ等で、デッドボルトがストライクの穴にあっていないのではないか。 （b）扉の反発により、デッドボルトがストライクの穴にあっていないのではないか。 （c）錠前側の縦チリは 6㎜以内か。		
1－3　ケースの取付状態は良好か。デッドボルトがスムーズに出入りするか。 （a）フロントが扉面に正しく納まっているか。		
1－4　シリンダーの取付状態は良好か。 （a）ＭＩＷＡマーク（UR−Jシリンダーの場合、Vマーク）が上になっているか。 （b）ガタつきがないか。		
1－5　ハンドル（握り玉）の取付状態は良好か。 （a）ガタつき・ゆるみはないか。 （b）動きはスムーズか。		
1－6　ストライクの取付状態は良好か。 （a）取付方向は正しいか。 （b）マグネットの位置は正しいか。 （c）デッドボルトとストライクの穴との位置は正しいか。上下、前後。		
1－7　通電金具の取付状態は良好か。（スイッチ付の場合のみ） （a）通電金具と丁番の軸心があっているか。 （b）通電金具が扉反発の原因になっていないか。		
1－8　扉内の配線は正しくされているか。（スイッチ付の場合のみ） （a）錠前と通電金具の間の結線は結線図通りなされているか。 （b）コネクター付通電金具を使用している場合は、コネクターがしっかりはまっているか。 （c）断線はないか。		
1－9　扉を閉じた状態での錠前の動作チェック （a）錠種の確認表の動作が確実に行われるか。 （b）シリンダー・サムターン、ハンドル（握り玉）、デッドの動きがスムーズか。		

2．監視盤等の取付け、配線した時のチェック【電気工事】（スイッチ付の場合のみ）	結　果	備　考
2－1　結線は正しくされているか。 （a）通電金具と監視盤等の間の結線は、結合図通りになされているか。 （b）コネクターを使用している場合は、コネクターがしっかりはまっているか。 （c）断線はないか。 （d）配線長さに見合う太さの線を使用しているか。（0.3㎟で90ｍまで）		
2－2　信号は出力しているか。 （a）扉の開閉信号が出力しているか。（テスター等で接点出力を確認してください。） （b）施解錠信号が出力しているか。（テスター等で接点出力を確認してください。）		